

SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール
岩手県立水沢高等学校
第10号 2019年11月26日 発行

SSHフィールドワーク研修

11月24日(日)にSSHフィールドワーク研修を実施しました。今年のフィールドワーク研修は、『風化しつつある東日本大震災を学び直すとともに、今後起こりうる様々な自然災害に対する防災意識を高める』ことを目的に計画しました。研修先として、陸前高田市に開館した「東日本大震災津波伝承館」、宮城県気仙沼市の「東日本大震災遺構・伝承館」を選定しました。参加した生徒は、1年生4名、2年生36名の合計40名でした。

はじめに、東日本大震災津波伝承館「いわてTSUNAMIメモリアル」を見学しました。

展示内容、見学の様子を簡単に紹介します。

【エントランス】

三陸沿岸地域の地図があり、3.11伝承ロードなど岩手県沿岸部全体を俯瞰できる。



【ガイダンスシアター】

「命を守り、海と大地と共に生きる」をテーマとする施設全体の趣旨を映像で説明。



【ゾーン1:歴史をひもとく】

津波災害を歴史的・科学的視点で展示、地層のはぎ取り模型で平安時代から昭和までの津波の痕跡が確認できる。



【ゾーン2:事実を知る】

東日本大震災で被災した実物、映像、写真、証言などにより、震災の事実を見つめる。



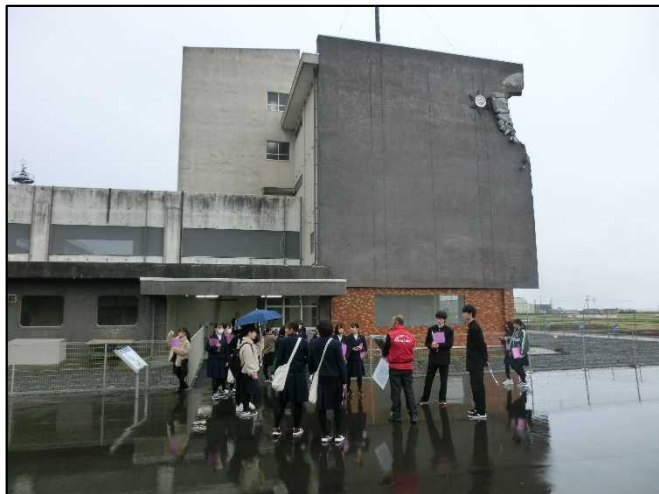
【ゾーン3:教訓を学ぶ】

震災発生直後から数年後までの、「逃げる、助ける、支える」といった人々の行動を振り返り、命を守るための教訓を共有する。

雨が降っていましたが、一本松も見てきました。



午後は、宮城県気仙沼市に移動し、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を見学しました。この施設は、震災当時は宮城県気仙沼向洋高校の校舎でした。津波で3階まで完全に水没し、4階の床上25cmまで浸水しました。その当時の校舎内がそのまま保存されています。



展示内容、見学の様子を簡単に紹介します。

【震災伝承館】

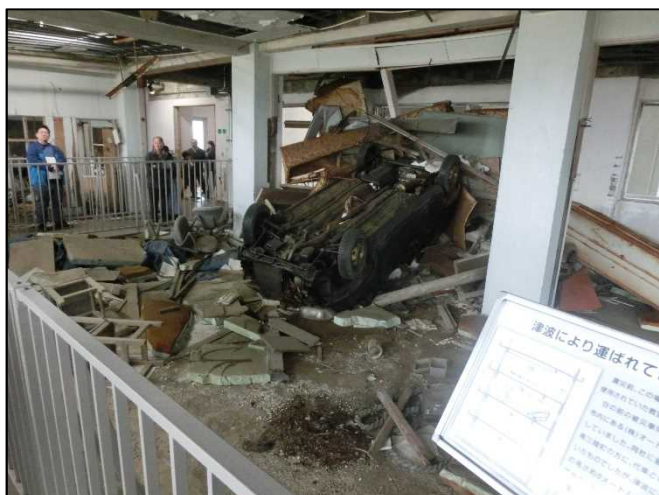
映像、写真で震災直後の様子を振り返りました。

【震災遺構】

1階から屋上まで移動しながら当時の様子を見学しました。その後、外から体育館などを見学しました。



2階の情報系実習室



3階に流れてきた車



屋上で周辺の状況を聞く



周辺から流れてきた車やガレキ

【震災伝承館】

映像で、被災者の想いや命の大切さを改めて知ることができました。特に、避難所になっている中学校の体育館で、多くの避難者がいる中で行われた10日遅れの卒業の映像がありました。答辞を読む卒業生の姿がとても印象に残りました。映像を見た後、生徒一人一人が付箋に見学の感想を記入し、模造紙に貼り付けました。最後に、館長さんからお話をいただきました。



本校の生徒に語りかける館長さん